

令和８年度生活支援体制整備事業事業計画書

	区域・圏域	事業計画		
		項目	現状の課題	活動目標（具体的内容・スケジュール等）
Ⅰ ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築	区域・全圏域	１．第１協議体の開催	・高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	西成区地域福祉計画推進チーム会議にて年２回以上開催し、地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況などの情報共有や意見交換を行う。
	区域・全圏域	２．ニーズと地域資源の把握	・区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種会議体や活動に参加し、活動者や参加者、関係者との情報共有や意見交換を通じてニーズや資源の把握を進める。
	区域・全圏域	３．ネットワークの構築	・事業推進のため、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種会議体や活動への参加、ニーズや資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、関係づくりを広げる。
Ⅱ 地域資源・サービスの開発等	区域全体	A．新規立ち上げ・既存資源の拡充	・ポッチャ活動が区内で広がっているが、地域住民しか参加していない等の理由から誰でも参加しやすいポッチャ活動の場は少ないため、初めてでも参加しやすい場を作る必要がある。	A－１．ポッチャサークル（区域全体）
	区域全体	B．既存資源への継続支援	・生活支援に関する資源が少ない。 ・食事や掃除、同行等のニーズはあるが、あまり対応できていない。	B－１．西成まちの助っ人サービス（区域全体）
	区域全体	C．その他講座開催など	・南北に大きな道路があり、東西の移動の交通手段が少ない。 ・区の西側は交通手段が限られており、自転車に乗れないと区役所に行くにも苦勞する。 ・オンデマンドバスは知っているが利用につながっていない。	C－１．オンデマンドバス利用講習・体験会（区域全体）
			・関係機関や企業と連携し、新たな参加者や活動づくりを進める必要がある。 ・会館以外の拠点を増やすきっかけ作りが必要。 ・eスポーツやモルック等新たな介護予防のツールの周知を進める必要がある。	C－２．ジャガピー杯ポッチャ大会（区域全体） C－３．ポッチャステップアップ審判講座（区域全体） C－４．モルック、eスポーツ体験会（区域全体）
	西成区圏域	A．新規立ち上げ・既存資源の拡充	・国道を挟んでいる地域があり、会館までに国道を渡る必要のある方の中には、通いの場への参加が難しいことがある。 ・現在ある百歳体操やポッチャの場にとどまらず、より多彩な住民のニーズに対応し、外出につながる活動の場が必要である。	A－１．元気百倍体操（萩之茶屋地域） A－２．eスポーツを通して居場所づくり（弘治地域）
	西成区圏域	B．既存資源への継続支援	・百歳体操が物足りない、飽きてきた等の声があり、マンネリ化による参加者の減少。 ・高齢による参加者の減少。	B－１．徳乗寺百歳体操（岸里地域） B－２．笑いヨガ（弘治地域）
	西成区圏域	C．その他講座開催など	・地域活動の担い手の高齢化。 ・地域住民の高齢化による活動への参加者の減少と固定化。	C－１．地域活動の担い手の発掘（岸里地域） C－２．前期高齢者に対する地域デビュー案内（橘地域）
	玉出圏域	A．新規立ち上げ・既存資源の拡充	・高齢者の健康維持のための新たな提案が必要である ・百歳体操が物足りない、飽きてきた等の声があり、マンネリ化による参加者の減少。 ・百歳体操後のレクリエーションの提案（モルック推奨）。 ・ポッチャのニーズはある。参加したいが立ち上げには消極的な地区がある。	A－１．南津守なかよし百歳体操（南津守地域） A－２．千本百歳体操（千本地域） A－３．千本千寿会ポッチャ（千本地域） A－４．南津守百歳体操（南津守地域） A－５．栄光会館百歳体操（千本地域）
	玉出圏域	B．既存資源への継続支援	・継続して活動している場所について、周知や運営のフォローなどの支援が必要。	B－１．あゆみ工房（南津守地域） B－２．溝口百歳体操（南津守地域） B－３．溝口医院ポッチャ（南津守地域） B－４．南津守第１住宅集いの場（南津守地域） B－５．千本ポッチャクラブ（千本地域） B－６．昭和メロディー歌謡教室（千本地域） B－７．想い出教室（千本地域） B－８．くすの木百歳体操（玉出地域） B－９．やまき苑百歳体操（玉出地域）
	玉出圏域	C．その他講座開催など	・スマートフォン講座開催のニーズがある（ＱＲコードの読み込みや情報収集の仕方など）。 ・すでにポッチャ開催しているところで審判の知識を深める講座の開催。	C－１．スマホ講座（南津守地域） C－２．ポッチャ審判講座（千本・南津守地域）
	北西部圏域	A．新規立ち上げ・既存資源の拡充	・高齢者の健康を保つための取組みとしていきいき百歳体操のニーズがあり区としても推進するねらいがある。 ・地域貢献の活動について支援が必要。 ・ポッチャのニーズがあり開催場所が増えている。 ・住民の高齢化により歩行や移動に不安が高まっており、対策が必要。 ・既存の活動について新しい取組みを取り入れることで、より介護予防や参加者の関係づくりにつながっていくことが必要である。 ・百歳体操が物足りない、飽きてきた等の話があり、ラジオ体操等の提案・整骨院の先生に入ってもらうなど新しい取組みが必要。	A－１．コミュニティカフェ北津守（北津守地域） A－２．有田宅おしゃべり会（北津守地域） A－３．北津守ノルディックウォーキング（北津守地域） A－４．北津守モルック（北津守地域） A－５．中津守住宅茶話会（津守地域） A－６．津守ポッチャ（津守地域） A－７．梅南ポッチャ（梅南地域） A－８．わくわくLab（梅南地域） A－９．長橋ポッチャ（長橋地域） A－１０．きらきらシルバー（松之宮地域） A－１１．松之宮スマイル（松之宮地域） A－１２．北津守百歳体操（北津守地域） A－１３．津守百歳体操（津守地域）
	北西部圏域	B．既存資源への継続支援	・継続して活動している場所について、周知や運営面での支援が必要。	B－１．梅南おとこまえ百歳体操（梅南地域） B－２．梅南いきいき百歳体操（梅南地域） B－３．カーサガーデンカフェ（梅南地域） B－４．長橋百歳体操（長橋地域） B－５．松之宮百歳体操（松之宮地域） B－６．ライフカーサ百歳体操（梅南地域）
	北西部圏域	C．その他講座開催など	・遠方へ行きづらい方のために地域会館等、身近な場所でeスポーツやポッチャ体験を行う必要がある。 ・普段ニーズ調査が出来ていない方へのニーズ調査を行う。	C－１．eスポーツ体験（梅南地域）

令和８年度　生活支援体制整備事業　事業計画書

	東部圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充	・ニーズのある活動について活動できる場所が限られている。 ・他地域の住民との繋がりが少ない。 ・新たな取組みを検討している高齢者施設がある。 ・既存の活動に新しい取組みを入れることが難しい。	A－１．かがやきポッチャ（天下茶屋地域） A－２．のぞみ手作り教室（天下茶屋地域） A－３．のぞみポッチャ（天下茶屋地域） A－４．山王百歳体操（山王地域） A－５．山王ポッチャ（山王地域） A－６．今宮百歳体操（今宮地域） A－７．昭和歌謡レコードを聴く会（天下茶屋地域） A－８．スポーツ吹き矢（天下茶屋） A－９．のぞみ歌教室（天下茶屋地域）
	東部圏域	B. 既存資源への継続支援	・継続して活動している場所について周知や運営面などの支援が必要。	B－１．天水湯百歳体操（天下茶屋地域） B－２．山王カラオケ（山王地域） B－３．オリーブの会（天下茶屋地域） B－４．のぞみポッチャ（天下茶屋地域） B－５．みどりカフェ（山王地域）
	東部圏域	C. その他講座開催など	・遠方へ行きづらい方のために地域会館等でのeスポーツやポッチャ体験が必要。 ・普段ニーズ調査が出来ていない方へのニーズ調査を行う。	C－１．eスポーツ体験（飛田地域）
Ⅲ　活動の場の開発	西成区圏域	南海電鉄西天下茶屋駅周辺地域に集いの場を開発	・周辺地域に集いの場や運動の場がない。 ・地域の会館まで距離があり、大通りも渡る必要があるため行きにくい。	・地域で活動されている民生児童委員や専門職と連携をして新しい居場所づくりをする。
	玉出圏域	南津守第１住宅集会所の活用	・住宅の住民にとっては利便性が高いので集いの場としての活用を始める矢先に主体者が亡くなったため、現在は止まっている。	・引き続き住民が参加しやすい活動ができる場所としての活用を検討する。 ・８月２９日に第４回「防災・非常食の展示・食べ比べ」講座開催予定。
	西成区北西部圏域	はぎのさと別館の活用	・近隣地域で健康麻雀のニーズがある。 ・高齢者の外出、特に男性が外出をしない。	・地域住民を中心にどのような活動に参加したいかニーズを確認する。 ・参加者の方が自分達でつくり上げていく場としていきたい。 ・他地域の方も参加できる居場所・夏休み、春休み等の時は３世代交流の場としていきたい。
	西成区東部圏域	天下茶屋健康広場の活用	・男性の居場所が少ない。 ・広場を活用したいという地域住民の想いはあるが実現に至っていない。	・屋外でもできる活動の紹介をする。
	西成区東部圏域	山王集会所の活用や交流の促進	・子どもを巻き込んだ取組みを始めたいという声が上がっているが活動につながっていない。	・地域の会長などの意向も確認しながら内容を一緒に考え、提案する。
	西成区東部圏域	天下茶屋地域在宅サービスステーションのぞみ	・新たにモルックを始めたいと考えている。 ・ポッチャ活動を別の場所で開催できるようにしたい。	・西成区では定例のモルック活動がないため、他区のモルック活動を視察できるように調整。 ・近隣地域でポッチャ活動ができる場所がないか検討する。
Ⅳ　サービスの実施情報の周知等	区域・全圏域	１．様々な機会を通じた情報周知	・地域での取組みや生活支援体制整備事業の取組みなどについて、さらに多くの住民や関係者に周知する必要がある。	・医師会、歯科医師会、薬剤師会など関係機関と連携し周知を図る。 ・連絡会等での周知活動。 ・ほっとネットにしなり等のイベント参加。 ・地域ケア会議等に出席し、通いの場や事業の周知を図る。
	区域全体	２．地域資源リスト・マップの更新・発行	・地域の居場所や助け合いを住民だけでなく関係機関にも周知する必要がある。 ・毎年度作成してきた地域資源リスト・マップについての需要があり、ケアマネや包括職員等の活用も増えている。	・地域の居場所や助け合い、相談先などを掲載している西成区暮らし・元氣応援地域リスト及びマップの情報の更新やデザイン等の改善を図る。 ・紙媒体だけでなくホームページにも掲載する。 ・会議や情報提供時に活用し、周知を進める。